



しょうかん

小寒（5日）… 青く澄んだ空に冷たい風が吹きます …

年末、池の水がなくなっていることに気付いた子どもたちは、池に水を運ぶプロジェクトを展開しました。年が明け、かえでの葉っぱはほとんどが散っていて、木の周りに集めると山のようにになりました。その落ち葉も子どもたちにとっては遊び道具、教材となっていきます。

<雉始雉 きじ はじめてなく 1月15日～19日>

小寒の末候は「雉始雉」です。オスの雉がメスを求めて鳴き始める頃だそうです。野生の雉をご覧になったことがある方はどのくらいいるのでしょうか？

<ふんわりした落ち葉の山>

年末には、様々に色付いたかえでも、年明けにはほとんどの葉が散り落ちて、園庭を埋め尽くしており、びっくりするほどでした。始業式の日には、それらを掃き集めて落ち葉の山にした状態で子どもたちを迎えました。桜や柿の葉とは違い、小さくて薄く柔らかいかえでの葉っぱは、ふんわりした感触が気持ちよく、園庭に出てきた子どもたちは、すぐにその中に飛び込んでいきました。

<落ち葉を使つてのいろいろな遊び>

たくさんあることはやはり子どもたちの気持ちを刺激し、とにかく落ち葉の山に踏み込んだり、手で舞い上げたりして感触を楽しむこともしていました。その他にも、ままとのごちそうにしたり、京花紙に包んで焼き芋にしたりして遊んでいました。年長児は、散らばったものを箒やついたてなどの道具を使つて集めていました。次々と子どもたちが遊んでいくうちに、片付けの頃には、山のようにあったものが、粉々になって嵩（かさ）が随分減つていて驚かされました。

<この落ち葉で腐葉土が作れるよ>

今年の実りに感謝して柿の木に「お礼肥^{れいごえ}」を与えること、落ち葉を使つて肥料となる腐葉土が作れるという話を時々していました。その話に興味をもった年長児たちは、落ち葉でたくさん遊んだ後、担任と一緒にビニール袋にまとめて、それを取つておきました。そして、落ち葉を腐葉土にするための「土工場」を作ることになりました。最近、靴下の中が土だらけの子は、きっとこの仲間になって、裏庭に穴を掘っている子たちです。その様子は、改めてご紹介します。



びっくりするくらいたくさん落ち葉



わーい、ふわふわして気持ちいい



もっとたくさん！こっちに集めよう！



みんなが遊び尽くすと、こんな様子に



2階のテラスにはかえでの種が
たくさん落ちています



去年の春、種から芽吹いた
かえでの幼木が2本、元気です



落ち葉で腐葉土を作ろう！
まずは、穴を掘る場所の整備から…